

平成26年度藤枝市行政サービス評価委員会の提言等への対応

(市長公室 行政経営課)

委員会からの提言等への対応(総括)

委員会の指摘事項や提言を受けて本市では、

・健康・福祉施策に限らず、政策目的の実現のため、限りある資源(人財・財源)を最大限に活用し、関連する分野の施策を効果的に組み合わせる展開していきます。

特に、平成27年度は

・保育所待機児童ゼロへ向けた事業推進

(認可保育所の創設・地域型保育の環境整備の支援)

・放課後児童クラブの更なる質の向上

(空調機設置・専用施設の塗装改修・障害児やアレルギー等に関する指導員研修の実施)

・高齢者の自立を支える体制の強化

(地域での介護・医療・生活支援など切れ目のないサービスを提供する地域包括ケアシステムの構築・認知症初期集中支援チームの設置)

・障害者の社会的自立の支援

(障害者雇用先進事例集の配布・障害者雇用啓発セミナーの開催)

等に取り組むための予算を計上し、組織体制を整え、子育て世代を中心とした定住環境の整備により「選ばれるまちふじえだ」としての魅力を一層高めるよう施策を展開していきます。

(詳細は、別紙「委員会における指摘・提言への対応方針(A3横版3枚)」を参照。)

～平成26年度の委員会では、次のとおりテーマを定めて審議が行われました。～

1 開催日時

平成26年9月29日(月)午後3:00～午後5:00

2 開催会場

藤枝市民会館 2階 第1～第3会議室

3 委員会の目的

藤枝型の新公共経営を着実に推進するため、市民、事業者、学識経験者等で構成される「藤枝市行政サービス評価委員会」を平成21年度に設置し、市民本位の行政サービスの提供を観点に毎年度、施策や事業の取り組みについての的確な検証・評価を実施しています。

委員の皆様のご意見をもとに、市の判断と責任において「仕分け作業」を行い、次年度の予算や組織の編成に反映させる本市独自の行政評価であり、国や県の「事業仕分け」とは異なります。

4 評価のテーマ

毎年度、本市の重点方針からテーマを定め、テーマに関連する部局の取り組みを評価しており、本年度は、「健康・福祉の充実による定住促進」をテーマに、第5次藤枝市総合計画の成果指標の達成に向けた**健康福祉部**の取り組みについて検証・評価を行いました。

【テーマの設定理由】

人口減少社会が到来し、県内人口が総じて減少しているなか、増加基調を維持する本市では、さらに定住人口の増加策に磨きをかけるため、市民生活に欠かせない「健康・福祉」分野から施策の充実に向けたご意見を反映するようテーマとしました。

5 審議方法

本市独自の「行政評価システム※」を用いて、第5次藤枝市総合計画の進行管理を行うため、計画目標の達成状況や今後の施策や事業の取り組みについて、それぞれの担当部署から説明し、その取り組みに対する質疑応答と今後の改善に向けた意見交換を行いました。

※行政評価システム

総合計画の成果指標（目標）の達成に向けて、毎年度策定する「次年度戦略方針」に基づき、予算と組織、人事(人員)を効果的に連動・配分して各部局の施策展開につなげるシステム。

6 委員会当日の審議資料及び記録

(1) 委員会当日の審議資料

① 「行政評価システムシート」(健康福祉部)

平成25年度の実績と平成26年度の改善点等を記載した課毎の「単年度戦略シート」及び「施策レビューシート」、職員が取り組んだ「全事業の総点検シート」で構成します。

② 「成果指標の管理シート」(健康・福祉分野)

「行政評価システムシート」の「単年度戦略シート」の「◆総合計画成果指標当該年度詳細」の表から抽出した「健康・福祉」分野の成果指標（目標）の一覧で、①と同様に、平成25年度の実績及び達成度と平成26年度の改善点を記載してあります。

(2) 委員会の記録(別紙「委員会における指摘・提言への対応方針」を参照。)

当日の委員のご発言を「指摘事項・提言」として集約し、これに対する市の対応方針と平成27年度の対応事業・組織について、取りまとめました。